



社会福祉法人

るうてるホーム 法人報

聖書の教えに従って
お客様を敬い、
お仕える

親密な触れ合い

わたしは信じます。
命あるものの地で主の恵みを見ることを。

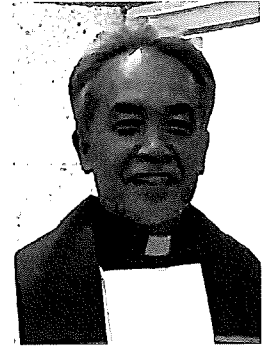
(旧約聖書・詩編 27 編 13 節)

るうてるホームと再会して、早 20 年を過ごしました。再会と申すのも、かつて小学生の頃、母に連れられて、出来たばかりのホームのボランティアに訪れておりました。母が、「今度、るうてるホームに『特養』が出来たのよ」と、自分のことのように喜んでいた言葉を思い起こします。「トクヨウ？」…子どもであった私には、何か「お得な？」ものができたのかと不可思議でありました。

再会して以来、ホームを通じて多くの方々との出会いを与えられたことは有り難く、幸いなことでした。また、多くの方々を見送ることとなったのも貴い経験となりました。かつての軽費老人ホーム改め、今日のケアハウスでも親密な交わりをいただき、特別養護老人ホームでは不自由な暮らしのお手伝いをする親密な触れ合いなど、与えられた恵みは計り知れません。これらすべては、礼拝を中心とした神との親密な日々によってもたらされたものでありましょう。

聖書が教える通り、教会もそして教会の祈りから生み出されたるうてるホームも、神を尊び、人を尊ぶことを使命としています。教会もホームもそれぞれに礼拝を大切にしておりますが、教会はホームの皆さんの礼拝を見習わなければなりません。と言いますのも、教会での人の座り方は人と人との間に距離があります。よく知らない方と隣り同士には座らないのです。他方、ホームでの礼拝は、隣の席が空いているならば、「ここよ！ここ！」と、こぞって後から訪れた方を招いておられます。この親密さは、まるでパラダイスのようです。教会の望む理想的な礼拝です。神との親密さが、人との親密さにも表れて来るものですね。

命あるものの地で主の恵みを見るところ、それが私たちのるうてるホームです。この素晴らしき家、素晴らしき日々を、入居者の皆さんと、尽くしてくださる職員と、喜んで訪ねる人々との親密な触れ合いを通して、さらに豊かにはぐくんでいきたいと願います。



理事
永吉 秀人
(天王寺教会牧師)

2017 年度事業報告・決算と 2018 年度事業計画

常務理事 石倉 智史

2017 年度は、社会福祉法の改正にともなう経営体制の変革からはじまり、地域に対して社会福祉法人としての使命を果たすことが求められた一年でした。そして第二期「るうてるホーム中期経営計画」においても前半が終了しました。社会情勢の変化に対応し、市場の調査をはじめとした初期的な対応の遅れは否めませんが、理念の継承をもとにした事業運営に関しては、人材確保、育成面において一定の評価ができました。総括的には実効性の検証を含めた事業部間の連携は強化されてきたと評価するものの、安定的な収益を確保するまでには至らず大きな課題を残すこととなりました。

事業においては、在宅におけるターミナルケアをテーマに事業部を横断したプロジェクトチームを新たに立ち上げました。そして偶然にもケアハウスにおいて「看取りケア」を行う機会が与えられ、法人内外の社会資源を有機的に結び付ける実践をすることができました。

またケアハウスにおいては、福祉サービス第三者評価を受審することによって、実践の評価、取り組むべき課題や目標などを明確にすることができました。

そして数年継続している「るうてる法人会連合」との連携として、東京老人ホームとの共同研修も第二期目が終了し、17 年度の新しい取り組みとして、他法人への現任研修を計画し、京都市にある修光学園（障害者福祉）と香川県のサマリア（高齢者福祉）へ 2 名ずつ、3 日間の研修を実施することができました。

この一年は当法人にとって、今後の方向性を見極める痛みをともなう経験であったとの認識を持ち、これまでの事業運営の検証と見直し、経営体制の在り方の再構築など乗り越えなければならない課題をさらに重く捉えていくことが求められました。

2018 年度は中期経営計画（2015～2020）の後半となる 4 年目がスタートします。私たちの最も基本的かつ重要な目的は、理念の実現へ向けて組織を維持し発展させることです。介護保険法等の改正も行われ、事業をとりまく社会情勢や環境は年々厳しいものになっていきます。特に人材確保については、将来に備え、確実な対策が求められます。

2018 年度は、安心して働き続けられる職場環境の整備、効率的な業務の推進を中心的な課題としてルールを明確にした人事制度の運用と検証を行いつつ新給与制度の基本設計に取り組み、積極的な業務改善をもとにして生産性の向上を目指していきたくと考えます。また、既存の制度の枠組みに捉われない地域の福祉ニーズに対して積極的に対応していくため、児童や重度障害児へのトライアル事業を計画していきます。さらに事業の継続性、安定化を目的として、正しいコスト意識のもとに経営状況、財務状況を正確に分析、把握し、制度の改変や大規模な災害が起こった場合など、急激な環境変化への対策を整えていきます。

2017年度決算概況

(2018年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	364,960	流動負債	76,300
現金預金	278,133	事業未払金	18,544
事業未収金	83,274	短期設備資金借入金	51,312
立替金	1,118	預り金	6,329
前払費用	2,435	前受金等	115
		固定負債	1,258,126
		設備資金借入金	1,222,100
		退職給与引当金	36,026
固定資産	2,103,904	負債の部合計	1,334,426
基本財産	1,487,075	純資産の部	
土地	534,814	基本金	815,533
建物	952,261	国庫補助金等特別積立金	305,165
その他の固定資産	616,829	その他の積立金	180,616
建物付属設備・構築物	272,634	次期繰越活動増減差額	△ 166,876
車両運搬・器具備品等	25,677	(うち当期活動増減差額)	△ 42,582
投資有価証券	100,000		
積立資産等	216,682		
その他の固定資産	1,836	純資産合計	1,134,438
資産の部合計	2,468,864	負債及び純資産の部合計	2,468,864

事業活動計算書の要旨

資金収支計算書の要旨

(自)2017年4月1日 (至)2018年3月31日

(単位:千円)

科目		金額	科目		金額
サービス活動増減の部	介護保険収益	442,197	介護保険事業収入		442,197
	老人福祉事業収益	76,669	老人福祉事業収入		76,669
	就労支援事業収益	163	就労支援事業収益		163
	障害福祉サービス事業等収入	63,667	障害福祉サービス等事業収入		63,667
	医療事業収益	13,374	医療事業収入		13,374
	その他事業収益	1,406	その他事業収入		1,406
	寄付金収益	3,226	寄付金収入		3,226
	サービス活動収益計	600,702	受取利息		642
	人件費	444,636	その他収入		2,670
	事業費	72,236			
	事務費	56,741	事業活動収入計		604,014
	就労支援事業	806	人件費		441,151
	利用者負担軽減	552	事業費		72,236
	減価償却費	72,558	事務費		56,741
	国庫補助金積立金取崩額	△ 8,986	就労支援事業		806
	サービス活動費用計	638,543	利用者負担軽減		552
	サービス活動増減差額	△ 37,841	支払利息		4,727
	サービス活動外収入	3,617	事業活動支出計		576,213
	サービス活動外支出	4,726	事業活動資金収支差額		27,801
	サービス活動外増減差額	△ 1,109	施設整備等収入		0
経常増減差額	△ 38,950	施設整備等支出		53,198	
特別収益	463	施設整備等資金収支差額		△ 53,198	
特別費用	4,095	その他活動収入		108	
特別増減差額	△ 3,632	その他活動支出		7,326	
当期活動増減差額	△ 42,582	その他活動資金収支差額		△ 7,218	
前期繰越活動増減差額	△ 124,239	当期資金収支差額		△ 32,615	

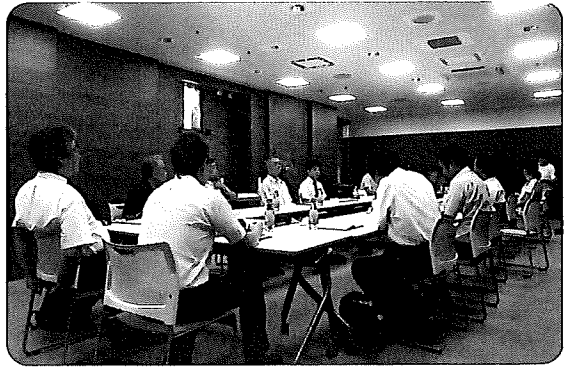
るうてるホームを支える牧師たちの集い

「主とともに働くわれらは、主とともにその実りを味わう」

るうてるホームは開設当時からいつも祈りと共に歩み続け、今年5月、創立53年記念の感謝礼拝が行なわれました。

入居しておられる方々を中心に、「祈りの場」が作り出され、毎朝の礼拝と日曜日の主日礼拝が今日まで引き継いで来られたことは何と素晴らしいことでしょう。

特に、主日礼拝には、ルーテル教会のみならず地域の様々な教派の牧師12名が関わってくださり、一日も欠かさず礼拝に与ることができています。ご自分の信仰生活を大切にされる入居者の方々にとって、教会や牧師とのつながりは、希望や生きがいを生み出していきます。その思いに関わって下さる、牧師の方々との懇談会を一昨年7



▲牧師懇談会

月にはじめて行い、日頃感じておられることを共有する時があまりなかった中、とてもよい機会とすることができました。

今年も7月に牧師懇談会を開催しました。よい交わりの中、これまでの恵みに感謝しながら、るうてるホームに関わるすべての方々のために祈りの時を持ちたいと思います。

(中村みどり)

後援会ご献金感謝報告

2017年4月から2018年3月までの献金総合計は、3,226,470円ございました。多額のご献金に感謝申し上げます。

今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。